

新宮山彦ぐるーぷ第2276回

山在峠先14番鉄塔から金剛多和への鉄塔巡視路ルート探索

◇実施日 2月26日(月) 晴

◇参加者 湯川一郎 1名

山在峠から大黒天神岳に向かう途中にある14番鉄塔から金剛多和までの鉄塔巡視路がどうなっているのかが、以前からとても気になっていた。また、山手から五大尊岳への取付地点と通行止めとなっていた林道小井谷山在線が通行可能となっているかの確認を併せて出かけた。

先ず、五大尊岳への取付地点を確認し林道へ向かったが、まだ通行止めとなっていた。そのため、山在峠へは再度国道168号線に戻り、下向橋経由で入った。

とても風が強く冷え込んでいて、山在峠から14番鉄塔までは休まずに歩いた。14番鉄塔の分岐には朽ちた標識「電発作業道 経て金剛多和」と赤テープ「NO.15」があるのは確認していたので、15番鉄塔に向かって進むと連続して赤テープがうってある。

地形図からも15番鉄塔までは、急斜面につけられた道であることは想像していたが、道幅は狭く土砂の流れたトラバースの連続だった。随所にロープも張られているが、斜面に正対し片手でロープを掴み、蟹の横ばい状態で歩くところが多々あった。

15番鉄塔に着いたところで小休止した後、16番鉄塔への道を探すが見当たらない。ここで引き返そうかと思っていたところ、鉄

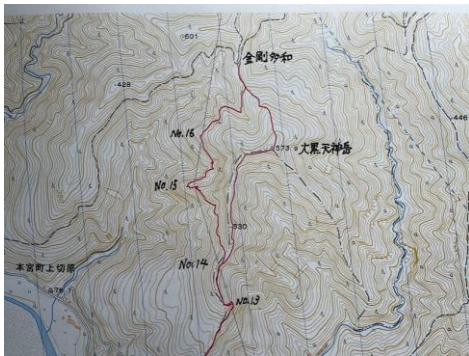
塔の下に降りていく道があり、覗き込むと赤テープと黄色のプレートが見えた。プレートのあるところまで降りると、下から登ってくる道があり、分岐になっていた。



濡れた岩場



電発作業道の標識



ルート図



落ちると這い上がれない斜面

この先も道が荒れており、沢を横切る濡れた岩場もあり慎重に通過した。途中、グレーチングの階段や沢を渡す鉄板があり、よくぞ資材をここまで運んだものだと感心した。

16番鉄塔から先はよく踏まれた道で、2週間前に確認した水場を通過し金剛多和に到着した。14番鉄塔から金剛多和まで1時間半近くかかってしまった。ここで休憩し、沖崎さんには、思いのほか悪路で予定より時間を要したこと、大黒天神岳経由で下山する旨を連絡した。

大黒天神岳からの途中、2週間前には斜めになっていた枯れた松が、雨が降り続いたせいか道を塞いでしまっていたので、鋸で根元を切って処理し、山在峠に下山した。
(記：湯川)

行動タイム

山在峠 10:13→10:45 14番鉄塔 10:47→11:13 15番鉄塔 11:24→11:54 16番鉄塔 11:54→12:12 金剛多和 12:23→12:41
大黒天神岳 12:41→13:02 14番鉄塔 13:10→13:38 山在峠